

プレスリリース 2012年2月13日

## 世界 30 の国と地域から 480 社が出展し、過去最大規模で開催！ 医薬品研究・開発・製造のための最新製品・技術を 紹介する 5 つの国際展示会

CPhI Japan 2012 (国際医薬品原料・中間体展)  
ICSE Japan 2012 (製薬業界受託サービスエキスポ)  
P-MEC Japan 2012 (原薬・中間体 機器/装置展)  
BioPh Japan 2012 (バイオフィーマージャパン)  
Pharmatec Japan 2012 (ファーマテックジャパン)

会期:2012年3月21(水)・22日(木)・23日(金)  
会場:東京ビッグサイト 東ホール東5・6ホール  
主催:UBM ジャパン株式会社、UBM Live、UBM キャン、化学工業日報社

### 世界と日本を結ぶ製薬業界における 国際ネットワークイベントが、過去最大規模にて開催！ 日本初開催「ファーマテックジャパン」を併催

医薬品の研究・開発・製造のための国際ネットワークイベントとして、毎年ヨーロッパをはじめ、中国、インド、南米、そして日本で開催されている CPhI (国際医薬品原料・中間体展)、ICSE (製薬業界受託サービスエキスポ)、P-MEC (原薬・中間体 機器/装置展)、そして BioPh (バイオフィーマ) の日本版が、今年は 3 月に会期を移し 3 月 21 日からの 3 日間、東京ビッグサイトにて開催となる。また、本年は主催者である UBM のグループ企業 UBM キャンが世界で展開



するドラッグデリバリー包装送技術に焦点を当てた国際展 Pharmatec (ファーマテック) も同時開催され、過去最大の 480 社を超える出展社の参加が決定している。昨年、開催を目前に発生した東日本大震災の影響で開催を延期した同展示会は、約 2 年ぶりの東京開催となる。

今回 10 回目を迎える CPhI Japan は、日本国内はもとより世界各国から医薬品の原料、

中間体のサプライヤーが出展し、世界第 2 位の製薬市場に向け最新製品やサービスを紹介する国際展示会。日本の医薬品市場における「開発力の強化」、「品質保証・安全管理の確保」、「コスト競争力の向上」、そして「国際ネットワークの構築」のための新たなパートナーやサ



プライヤーの発掘の場として、また、既存サプライヤーとの効率的な商談の場として、2002年より毎年その規模を拡大しながら開催されてきた。また、2005年には製薬業界に特化したアウトソーシングサービスを提供する企業がその最新技術を紹介する ICSE Japan が、2008年には原薬、中間体の研究、開発、製造のための機器展 P-MEC Japan が、そして昨年7月に開催された大阪版で初登場となった製薬業界に特化したバイオ展 BioPh Japan が併催展として誕生し、それぞれが連動することで、専門性の高い国際イベントとして、医薬品開発における世界の最新製品、技術を国内外に向けて紹介している。

## 一段と国際的を増す CPhI Japan

CPhI 及びその併催展は UBM 社の国際ネットワークのもと、世界の製薬主要市場を繋ぐ広報活動を展開しており、日本で開催される展示会としては珍しい、本来の意味での国際展示会となっている。毎年ナショナルパビリオンを形成する中国、韓国、英国、イタリアをはじめ 30 の国と地域から出展社が参加する本イベントは、その出展社全体の3分の2が海外からの参加者となる。

ボーダレスな企業買収やパートナーシップの形成が進む製薬業界において、その国際競争力の向上は日本の製薬会社にとっても不可欠な要素となっており、日本国内のみならず海外プレーヤーを視野に入れた新たな原料サプライヤーやアウトソーシングパートナーの発掘、そして最新テクノロジーの導入は一段と重視されている。特にジェネリック医薬品の日本での普及拡大に伴い価格競争力のある原薬サプライヤーの確保は製薬メカにとって急務とされており、CPhI Japan はその併催展とともに、この日本製薬業界のニーズに応え、海外からの参加する出展社、来場者との効率的な商談の場を提供している。

また、今年は、インドがフォーカスカントリーとしてそのパビリオンサイズを2倍に拡大して登場。インド政府の全面サポートのもと、会期中様々な特別イベントが予定されている。

## 140 を超えるセミナープログラム

### 10 周年記念企画。日本製薬工業協会による特別講演も開催

本年の展示会ではその 10 周年記念セミナーとして日本製薬工業協会が主催する特別講演をはじめ、本イベントの後援団体でもある日本製薬団体連合会、日本ジェネリック製薬協会、社団法人日本薬業貿易協会、日本ジェネリック医薬品学会、日本医薬品原薬工業会、社団法人日本分析機器工業会など業界を代表する各団体から講師を招き、日本製薬業界の今を探るプログラムを併催するとともに、米国研究製薬工業協会や欧州製薬団体連合会、インドネシア製薬協会、そして原薬やバイオ分野における世界のリーディングカンパニーから講師を招き、国際市場の最前線を紹介する。セミナーの多くは聴講無料となっており、製薬業界の最新動向を探る絶好の機会を提供する。

### 展示会への無料来場者事前登録及び セミナーへの事前申込みはホームページで受付中

セミナーの詳細プログラム、出展社リストを含む展示会の招待券は、主催者事務局 (UBM ジャパン株式会社 TEL:03-5296-1020 Email: visitor@cphijapan.com)にて希望枚数を無料で入手可能。また、展示会への来場及びセミナーへの事前の申込みは、ホームページ [www.cphijapan.com](http://www.cphijapan.com) で受付を行っている。



<開催概要>

会期: 2012年3月21日(水)・22(木)・23日(金)

会場: 東京ビッグサイト 東5・6ホール

主催: UBM ジャパン株式会社、UBM Live、UBM キヤノン、化学工業日報社

後援:

厚生労働省、経済産業省、(社)日本化学工業協会、日本製薬団体連合会、日本製薬工業協会、  
日本医薬品原薬工業会、日本ジェネリック医薬品学会、日本ジェネリック製薬協会、日本 OTC 医  
薬品協会、米国研究製薬工業協会(PhRMA)、欧州製薬団体連合会(EFPIA)、  
(社)日本分析機器工業会、化成品工業協会、日本医薬品添加剤協会、(社)有機合成化学協会、  
(一財)バイオインダストリー協会、(一社)バイオ産業情報化コンソーシアム、ヨウ素学会、  
(社)日本化学品輸出入協会(社)日本薬業貿易協会、日本食品添加物協会、触媒工業協会

=====

【展示会に関するお問い合わせ先】

CPhI JAPAN 運営事務局(UBM ジャパン株式会社内)

TEL:03-5296-1020 Email:[visitor@cphijapan.com](mailto:visitor@cphijapan.com) 担当:仁藤、嶋内